

参考資料

防災科学技術研究所とは

昭和 38 年に設立された自然災害と防災に関する研究を行う文部科学省所管の研究所です。

災害から人命を守り、災害に強い社会を実現するための科学技術を発展させることを目指して、約 1800 か所に設置された地震計による地震観測のほか、地震やその被害予測、火山噴火予知の研究、その他の自然災害の予測研究などを行っています。

生きる、を支える科学技術

【基本情報】



防災科研

名 称：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

所在地：茨城県つくば市天王台 3-1（本所）

サイト URL：<https://www.bosai.go.jp/>

地震の予測データについて

防災科研は、日本及びその周辺で起こりうる全ての地震に対して、発生場所・規模・発生可能性に基づき各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を地図に示した、「確率論的地震動予測地図」を「J-SHIS Map」において公開しています。

「地震 10 秒診断」では、利用者の位置情報から防災科研が提供する「確率論的地震動予測地図」のデータを参照し、「震度（計測震度）」と「確率」を算出しています。

●J-SHIS Map：<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map>

地震ハザードステーション（J-SHIS）の J-SHIS Map は、地震防災に資することを目的として、日本全国の「地震ハザードの共通情報基盤」として活用されることを目指してつくられた Web マッピングシステム。

ライフラインの支障日数シミュレーションについて

防災科研は、地震の震源地や規模、地震の発生する季節や時間帯を設定して、想定される震度や被害状況、ライフラインの復旧状況などをシミュレーションするシステム「あなたのまちの直下型地震」を公開しています。

「地震 10 秒診断」では、利用者の位置情報から算出した計測震度を基に、「あなたのまちの直下型地震」で採用しているライフライン支障日数算出関数を使って各ライフラインの支障日数を算出しています。今回の「地震 10 秒診断」の利用者からのフィードバックを得ることで更なる改良につなげていきます。

●あなたのまちの直下型地震：<https://nied-weblabo.bosai.go.jp/amcj/>

身近で地震が起きた時にどのようなことが起こるのか、どのような生活が待っているのか、どのようなことに気をつけるべきかを、個人の状況に応じて考えていただくために活用されることを目指して開発された被害想定システム。